

遠州の小京都 森町

天宮神社

道の守神

道主貴 人の踏み行う道の守り神

この字

流石木信信

神のみまへをかしこみ千とせせさらし竹柏の大樹は

かきこみ

千とせせさらし

竹柏の

大樹と

三方を小高い山に囲まれ、中央を太田川が流れる森町は遠州の小京都とも呼ばれています。

天宮神社はその太田川の清流と瀬入川のせせらぎの出会い千古の杜に鎮座しております。

杉松茂る参道の石段を二段一段と登りゆくと樹齢二千年余の竹柏の大樹に抱かれし拝殿、本殿へと至ります。

神社の創祀は千年の昔、遠く九州の宗像神社のより遷された「道」を司る最高の神「道主貴」が祀られております。

道の守り神とも呼ばれ人として生きる「人生の道」、すなわち人の踏み行う道の守り神、交通安全の守護神でもあります。

また、当社は姫神様であり、福徳、円満、知徳、安産、縁結び、子育て、長寿の守護神として御神徳は広くあがめられております。

【創祀】当神社は第29代欽明天皇の頃約1800年前に小碓命(日本武尊)の後裔太田の君、森の君の氏族が先祖の遺跡を訪ねこの地を開き、筑紫の国宗像の御神霊を迎え大氏神として鎮座せられたのに始まります。

【御祭神】田心姫命・湍津姫命・市杵島姫命



- 【主な宝物】
- 事業征伐版木(このまことあかしかり)：寛政8年(1796年)～文政(1818年)まで遠州藩中心に、珍談奇聞の事実を題材とした民話集の出版に用いたもの(中村景繁作)、版木数84枚
 - 三十六歌仙書簡：江戸時代中期の作で、34枚
 - 銅製度量：元禄10年神社の地改築のときに、首藤源兵衛遠州備前守(主因家)が奉納、大火2回計4回
 - 神輿：江戸時代初期の作
 - 唐獅子木像：約750年前の作で社花一對の寄木造りの始末
 - 銅口：室町時代の作
 - 銅鐘・神楽用具：江戸時代の作が多数
 - 幣籠(唐櫃)：元禄3年伊に奉納され祀り神の御

佐佐木信綱博士の歌碑
「天の宮神のみまへをかしこみ千とせせさらし竹柏の大樹は」

遠州の古都 竹柏の大樹に抱かれて、我が歩む道を守る神と千古の杜を巡る。

■御本殿・御拝殿
 (静岡県指定文化財)
 元禄十年(1697年)に將軍徳川綱吉公の命により小國神社にも幕府棟梁甲良豊前宗賢により造営されました。当時の本殿はコケラ葺屋根でありましたが、昭和二年の修復で松皮葺屋根に変更されました。平成25年4月に創建当時の造営図を元にコケラ葺きの屋根に修復されました。



■くちなしの池
 池の名は出入口のない池のため口無しという説と、水神様のお使いである蛇のこを朽ち縄と言われそれをくちなしというようにもしたという説があります。池の畔には池畔社祭神天宮神社大神水波能売神が祀られ、初夏にはモリアオガエルの卵が孵化します。また、巨人伝説のいだらばつちの足跡とも云われております。



■末社
 本宮神社、秋葉神社が鎮座、神々が祀られております。また、境内の別棟に多賀社、稲荷社が祀られております。



■竹柏の大樹
 (静岡県指定天然記念物)
 御神木でもある竹柏の大樹は樹齢1000年余といわれ創祀を記念して筑紫の本宮から苗木を持参して植えたと伝えられ、当神社の竹柏の木は本殿の両側にあり、東側の雄木(御神木)、西側に雌木があります。



■ふじのくに エンゼルパワースポット
 縁結びの竹柏の木の葉は、丈夫でちぎれないため縁がきれいなまた、新木が絶えないことで夫婦の絆がきれいな、千年の契りが結ばれる縁結びのご神木として信仰されています。



【境内ご案内図】



十二段舞楽 奉納
 世界文化遺産
 安芸の宮島 厳島神社(2016.2月)
 鎌倉 鶴岡八幡宮(2018.2月)

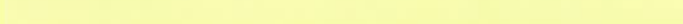


【演目】
 延舞・色香・庭胡蝶・鳥名・太平楽・新鞋鞆・安摩・二の舞・陵王・抜頭・納曾利・獅子

■十二段舞楽
 (国指定重要無形民俗文化財)
 慶雲二年(705年)に勅願による社殿の造営の折、京都から藤原綾足が神官として赴任し、京人に依って奉納舞楽が行われました。小國神社と同一の演目で、舞い手となる所作や装束の色、着装によって左右に区別され、二社一体で成立し、両社の深い関係を物語っております。

■ほうじ祭
 例大祭は、毎年4月第一土曜日(日曜日にずれ、本祭、御神輿渡御・還御に続いて、国指定重要無形民俗文化財の十二段舞楽の奉納をはじめ多くの神事が催され、夜には天社穀団員により舞児遣しなどが行われます。

■神宮寺(町指定文化財)
 明治のはじめ1875年頃廃寺となり、参籠所として改築され、現在は舞楽の練習所や集会所として用いられております。



■佐佐木信綱博士の歌碑
 昭和29年4月、神社に参拝された博士は、竹柏の大樹に感動され「天の宮神のみまへをかしこみと千とせきもらふ竹柏の大樹は」と詠まれその記念碑が境内にあります。

■森の石松ゆかりの石碑
 石松は幼少のころ神社の祭典の折り迷子となり、当時の使客森の五郎という人にひろわれたと伝えられております。

■弓道場
 当神社では日置流印西派の修練道場があります。祭典時、学生や一般の同行者に利用されています。

■花暦
 春/桜、菜の花、夏/しゃくなげ、あじさい、秋/コスモス

■なぎの葉
 縁結びの竹柏の木の葉は、丈夫でちぎれないため縁がきれいなまた、新木が絶えないことで夫婦の絆がきれいな、千年の契りが結ばれる縁結びのご神木として信仰されています。

■御旅所
 旅籠屋の跡地に建てられ、参拝者の休息の場として利用されています。

■参拝者駐車場
 約100台の駐車スペースがあります。

■表参道
 参拝者の往来に便利な参道です。

■石松の養家新屋旅館
 参拝者の宿泊施設として利用されています。

■職員駐車場
 神社職員のための駐車スペースです。

■お車載い所
 参拝者の車を安全に保管するための施設です。

■お祈い車順路
 参拝者の参拝の順序を示す案内です。

神事・行事

例大祭 4月第一土・日 (ほうじ祭)

毎月第一、第三日曜	月次祭	6月	夏越大祓 (茅の輪ぐり)
1月	歳旦祭・焼納祭	11月	新嘗祭
2月	節分祭・祈年祭・天宮稻荷祭	12月	年越大祓 除夜祭

御祈禱ご案内



交通安全御祈禱



節分祭 (厄除) 2月初旬



結婚式 (なぎ葉の千代の契り)

交通安全・家内安全・商売繁盛・厄除け
 合格祈願・長寿祈願・縁結び・安産祈願・病気平癒
 命名・初宮詣り・七五三詣り・成人式・結婚式
 地鎮祭・上棟祭・古札奉納・人形供養 他



御神札授与所

【申込受付】

事前にお電話などで内容を御連絡ください。

TEL.0538-85-5544

交通のご案内



- 新東名森掛川ICから約10分
- 袋井ICから約25分
- 天竜浜名湖鉄道掛川駅から
戸館駅まで約23分→神社まで徒歩約20分
遠州森駅まで約25分→神社まで徒歩約30分



天宮神社

〒437-0216 静岡県周智郡森町天宮 576 番地

TEL・FAX 0538-85-5544

<https://morimachiamenomiyajinjya.jimdo.com/>

